

特別会計の状況

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	103億390万1千円	100億9,255万2千円
住宅新築資金等貸付	5億7,960万5千円	5億7,960万5千円
公園墓地	3,971万5千円	634万3千円
公共用地先行取得	1億7,809万円	1億7,809万円
介護保険	64億8,100万円	64億7,200万3千円
介護サービス	3,693万3千円	2,408万4千円
後期高齢者医療	10億3,274万円	10億3,039万5千円
合 計	186億5,198万4千円	183億8,307万2千円

財産の状況

財産の種類	平成26年度末現在高
土 地	1,267,201㎡
建 物	286,720㎡
基 金	47億3,733万9千円

◆おもな基金の種類・現在高

- ・財政調整基金…………… 18億1,045万4千円
- ・減債基金…………… 10億3,514万4千円
- ・福祉基金…………… 5億6,590万6千円
- ・国民健康保険財政調整基金… 4億25万2千円

市債(借入金)の残高

◆平成26年度末現在の残高

会 計	平成26年度末現在高
一般会計	400億8,228万7千円
特別会計	2億1,297万3千円
合 計	402億9,526万円

◆市債残高の推移

年度	一般会計	特別会計	公営企業会計
平成22年度末	395億円	1億円	218億円
平成23年度末	382億円	1億円	212億円
平成24年度末	370億円	4億円	206億円
平成25年度末	410億円	3億円	198億円
平成26年度末	401億円	2億円	192億円

市の財政 健全化判断比率と資金不足比率

◆健全化判断比率 地方公共団体等の財政の状況を、数値でわかりやすく把握するために算出する指標です。数値が「早期健全化基準」を越えると、財政健全化への努力がより厳しく求められることになります。

▶大和郡山市の平成26年度決算にもとづく各指標は、すべての数値が「早期健全化基準」をクリアしています。

※「△」=マイナスを表します		大和郡山市 平成26年度	(参考) 早期 健全化基準
実質赤字 比率	一般会計等の赤字の比率	黒字のため 数値なし (昨年と変わらず)	12.58%
連結実質 赤字比率	一般会計と特別会計・企業会計全ての会計の赤字の比率		17.58%
実質公債費 比率	市債(借金)の単年度返済額の負担の重さを表す指標	10.9% (前年度比+0.5%)	25.0%
将来負担 比率	市債の残高や公社・第3セクターの債務など、負担しなければならぬ負債の大きさを表す指標	90.7% (前年度比△9.3%)	350.0%

◆資金不足比率 健全化判断比率と同様、公営企業の赤字の状況を表す指標。本市では、水道事業会計と下水道事業会計の2事業が対象。

▶2事業とも、平成26年度決算額では資金不足額がないため、「経営健全化基準」をクリアしています。



平成26年度 こんなところにお金を使いました。

安全・快適な暮らし

市道城廻り線橋りょう耐震補強事業	7,839万9千円
公営住宅建設事業	2億5,033万8千円
流域貯留浸透事業	4,570万2千円
都市計画道路城廻り線街路事業	5,791万2千円
交通安全施設整備事業	2,720万8千円
道路維持補修事業	2億38万3千円
郡山城天守台展望施設整備事業	2,844万1千円

子育て・教育

幼児二人同乗用自転車購入補助事業	359万6千円
臨時福祉給付金給付事業	1億9,487万円
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	1億317万9千円
妊婦健康診査事業	6,596万1千円
小学校給食センターあすなろ建設事業	14億406万6千円
中学校給食対応施設整備事業	2億9,803万7千円

協働のまち

コミュニティバス運行事業	3,562万8千円
市制60周年記念事業	1,086万4千円
第4次総合計画策定事業	879万1千円
転入・定住・家族の絆応援助成事業	2,585万円

健康・福祉・生きがいづくり

スポーツ会館改修事業	1,104万7千円
JR郡山駅・近鉄平端駅バリアフリー化設備整備事業	1,147万円
九条プール屋根改修事業	1億5,541万6千円
中央公民館耐震改修事業	2,244万2千円

産業・環境

清掃センター長寿命化事業	1,604万8千円
学校給食地場食材利用拡大モデル事業	642万4千円
住宅用太陽光発電システム設置補助事業	625万円
金魚サミット開催事業	583万7千円